

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム モンテラッセ

目標達成計画書

作成日: 令和4年3月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員の知識や技術の把握と、それに応じた教育制度、キャリアパスの制度等が不十分である。	個々の職員の持つ知識や技術に応じて、適切な教育制度を構築し、ケアの質を向上させる。	①介護プロフェッショナルキャリア段位制度の導入 ②指導者の養成	12ヶ月
2	8 14	人権教育、権利擁護等に関する教育が不十分である	委員会活動や研修を通じて、現在の福祉に関わる知識を広く習得できる環境を整備する。	①委員会活動等を通じて内部研修の機会を増やす ②権利擁護や人権についての外部研修への積極的な参加を促す	6ヶ月
3	2 3 4 22	地域との関りが不十分で、閉じられた関係性になっている	施設側が地域の取り組みへ参加するだけでなく、地域住民が気軽に施設に来ていただけるような取り組みを実践する。	①認知症サポーター養成講座や地域住民を中心としたワークショップの開催 ②①を実践するために社会福祉協議会等と連携し、協力関係を強化する ③ボランティアの招致、活動の支援	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。